

編集長：蛭灰谷愛
編集委員：平岡性 増田圭輔 矢原有理 ジャック・ファリス
菊地原徹郎 中島和也 藤井高広



都市デザインスタジオ最終講評会

—地元の方から沢山のコメントを頂きました—

本スタジオには本郷から菊地原・中島の2名、柏のM1は全員参加、更に他研究室、理科大、千葉大、筑波大から多数の学生が参加し、去年10月よりグループワークを続けてきました。12月に学内ジュリーを終え、今回は計画対象地にまさに住んでいる方にもご参加頂いての発表でした。



2009年1月17日、柏の葉アーバンデザインセンターにて都市デザインスタジオ最終講評会が行われました。このスタジオは都市、建築、河川、生物資源など、様々な分野を専門とする学生たちがグループを組み、一つの都市の空間や社会システムについて構想し、共同設計を行うというものです。テーマは「新しい田園都市を構想する」。遠大かつ漠然としたテーマに苦悩しながらも、各班なんとか最終講評会を迎えることができました。当日は、各班を指導して下さった先生方はもちろん、建築家の團紀彦氏など多くのゲスト講師、さらには設計対象となった柏たなかの住民の方々を迎え、各班の提案を受けて、今後の郊外都市や農のあり方について活発な議論が交わされました。学生にとっては、都市をデザインするという、共同設計の難しさについて学ぶところのあった貴重な経験となりました。

2008年度 第14、15回研究室会議

text_nakashima

1月22・28日、工学部14号館講義室にて第14・15回研究室会議が行われました。M2にとっては提出前最後の発表の機会であり、いつもにも増して熱い議論が交わされました。また22日には阿部先生(都市持続再生研究センター特任助教)から挨拶の言葉も頂きました。



【これまで】

学部から大学院、留学まで、土木(早稲田)、都市(都市工)、建築(バルセロナ)と隣接する3分野を順々に進んできたようなところがあります。バルセロナでの地中海的悦楽研究生生活を3年、政策研究大学院大学の研究助手の職を2年あまり経たあと、先月から都市持続再生研究センターの特任助教に着任しました。

【これから】

直接の所属は建築学専攻になり、週の半分はお隣の11号館4Fにいますが、都市デザイン研究室の一員としてもまちづくりプロジェクトや研究に従事していく予定です。スペインを足がかりとして欧州の様々な都市再生の実情を把握しつつも、次の10年でしっかりと日本のまちづくりにコミットして行きたいと考えています。

発表者一覧

第14回 2月22日

- M2 北村修一 「瀬戸内海の離島における居住の可能性と振興施策の評価」
- M2 大道亮 「2001年以降の都市計画道路の見直しに関する研究
—岐阜県を事例として—」
- M2 平岡性 「景観まちづくりにおける住民意識啓発の取り組みの効果に関する研究
—新宿区景観まちづくりガイドブック榎地区編を事例として—」
- M2 矢原有理 「中間組織を中心とした地区の保全活動と体制構築の展開
—東京都新宿区神楽坂地区を対象として—」

第15回 2月28日

- M2 鈴木(惇) 「保険による伝統的建造物群の維持管理・防災活動促進の可能性」
- M1 藤井 「建設現場における「仮囲い」に関する研究
「隣接する都市同士の役割分担に関する研究」
- M1 西川 「広域に分布する文化遺産の保全・活用に関する研究
—紀伊山地の霊場と参詣道を有する3県23市町村を事例として—」
- M1 菊地原 「地方小都市における連携・交流による景観・空間保全に関する研究
—福島県田村市におけるケーススタディー—」
- M2 亀長 「日本におけるマッチングファンド型まちづくり支援システムの導入における可能性と課題について —神戸市を事例として—」
- M2 山田 「都市型漁業集落における水辺の空間構造と利用形態に関する研究
—横浜市子安浜を対象として—」
- M2 増田 「NPOバンクと融資先で構築される相互信頼関係に関する研究
—東京CPBと北海道NPOバンクを対象として—」
- M2 ジェイ 「The integration of farmland and urbanized land as a strategy to preserve agricultural land and land uses」
- M1 竹本 「重要文化的景観保護制度の課題と可能性についての考察(仮)」
- M1 六田 「景観地区導入のプロセス(及び景観行政の地域づくりへの貢献)に関する研究」

前号掲載分は西村先生をはじめとした先生方より頂いた、今年の研究室の指針となるであろう含蓄あるお言葉でした。今回はその続編です。ここでは前号と打って変わって研究者であり実践者である両助教の、情熱という程度の言葉で茶化すことの出来ない生の声が聞けました。

「都市はあるものではなく、自分でつくるもの」

〈中島助教演説 要旨〉

■去年の自慢ですね

東京生まれの私が、東京人に寄稿したこと。結婚式の直前に稿料した。あまり皆さんには感動ないかもしれないけど…。前々から書きたいと思っていた。東京出身なので、盛り上がりたがらないですけどね…。意外と調べて書きました。その時はもう一個原稿を抱えていて、10+1の高山英華の原稿。結婚式の後にのぼしてもらって、2日後に書き上げた。本当の自慢は、それを都市計画学会の論文に書いたこと。みんな聞かない…。どうでもいい話かもしれないけど、高山英華は前々から気になっていた。都市工に入っっては？と思うのは、高山英華のせい。彼を自分なりにわかったことがよかった。書きっぱなしではなく、都市計画学会の論文を書いた。研究者を目指すものは、1年に1回査読論文を書きなさいと西村先生に昔言われた。それを高山英華で書いて嬉しかった。

■あと、去年の良かったことは結婚したこと

思ったことは、コンビニエンスの弁当に対する気持ちが変わった。昔岡村さんと一緒に食べていた。それがまずい。今は家帰ったらご飯がある(笑)これはすごい。そういうこと目指して、頑張ろう!!

■ちゃんとしましょう

毎年このこと(忘年会のスピーチ)を考えて仕事している。宣伝です。1月末に本が出る。1月28日出ると言われている本。ドクター論文ともう一冊出版する。3月前半に、石川栄耀に関する本。伝記。僕はその人が大好きで、仲間と出せるのが嬉しい。是非呼んでほしい。私が学生の頃は、過去の人。みなさんが遊んでいる間に、調べた。国会図書館で眠りながらも、調べていた。その中にいるいるな発見があった。あのときやってよかったと思っている。だから端的に言うと自分の限界を自分のもっと上に置いてやってほしい。頑張っているかもしれないけど、想像力を超えない。それを頑張って超えれば、いろいろ見えてくる。

■今年の抱負は

この研究室に居て10年たったが、もういいやと、分かったと(笑)。悪いけど、自分のことをやろうと思

う。だから、私は居ないかもしれない。居なくなりたいなあと思いつつ、頑張ろうと思う。

■最後に言いたい

皆都市、都市といいながら、全然都市やってないよ。みんな都市やりたいんでしょ?都市はあるものではなく、自分で作るもの。それが一番楽しくて、自分の糧になるもの。自分は都市やっているけどOB・OGの人は語ってほしい。都市は面白い。ホントおもしろいっすよ。いろんな人と関われるから。

「社会の問題に答えてこそ、都市のあるべき姿を語れる」

〈野原特任助教演説 要旨〉

■去年嬉しいこと

中吊り広告に、男お一人様はお先真っ暗と書いてあった。理由は、ライバル同士のお一人様はいるけど、本音を語れる友達がいないからだと。それで松田さんが、この場に来てくれて嬉しい。さっき松田さんは都市と建築の間に距離があると言っていた。その中庭の話、たしかにパリの中庭はすごい。パリは中庭にある。敷地割の形がそのまま中庭の形になる。で、地区ごとに中庭の形が異なる。そこが面白い。外側の街路を見ても面白くない。その面白さを共感できる仲間に会えたこと、建築と都市の話が出来る、新年会という場がいかに素晴らしいかを、君たちはわかってほしい。いろんな人と話をして、先輩方とネットワークを作って、男お一人様でも大丈夫なようにしよう(笑)。

今年は都市計画はそろそろ終わりにしようかなと考えている。都市計画はとても広がっていることと実感する。先日、高山の集落に行ったときのこと。景観的に美しい集落が点在していて、その地域の会合に呼ばれた。そこで景観の美しさについて述べると、大事なものを見ていないと地元の方に言われた。イノシシを見ていないと。獣害が酷く、畑の景観とか言っている場合ではないと。普通に考えたら、都市計画だからイノシシは分からないと答えるかもしれない。しかし冷静に考えると、都市計画とは衛生



問題に対し、何が出来るか空間から考えてきたのが都市計画。いのししに困って生活できないとしたら、そこをどうするべきなのか社会の問題に答えてこそ、都市のあるべき姿を語れるのだ。今の社会は都市計画の分野が確立されつつあるが、その場その時の社会で問題になっていることをベースにして、都市はどうあるべきか考えないことには始まらないのだ。そこから一度考えて、自分は何をすべきか、考えていきたい、というのが今年の目標。

■今年の抱負は、

選択と集中。僕も大学に来なくなるかもしれないね(笑)

リーブス先生の授業、無事終了 一TA西川留学生との交流一

text_M1西川



TAを担当していた、リーブス先生の留学生向け授業「Seeing Tokyo with New Eyes」が無事終わりました。この授業では2回留学生を連れて東京を案内しました。共に町歩き冊子を作り、英語には苦労しました。一回目は吉原や北品川を紹介し、二回目は下北沢と小金井の江戸東京たても館に行きました。特に下北沢では、学生を2グループに分け、駅前開発に賛成派と反対派で昼食時にディベートをしました。基本的には反対派の学生が多く、賛成派に振り分けられた学生は賛成のメリットを言うのに必至でしたね。

最後の授業では、皆でパーティーをしました。(研究室会議の隣でした…) TariqさんやNamさんが手作りの料理を振る舞うなど、楽しく過ごしました。

編集後記

text_nakashima

2号連続で新年会演説録を掲載しました。しかし紙面に載せることこそ叶いませんでしたが、多くのOB・OGがいっしょに、沢山の感想もった言葉を残して行って下さいました。私もこれらの言葉を心に留めてあと一年頑張りたいと思いました。それと…個人的な都合もあり、今号の発行が大変遅くなってしまったこと、深くお詫びします。

都市デザイン研究室 2月の予定

2月10日 M1ジュリー
2月12・13日 M2修論発表